

ちょっとしたお出かけの後に、  
行ったお店の段差の数や設備情報を投稿！



# 誰もが安心して外出できる社会へ。 Bmaps

Bmaps (ビーマップ) は、**バリアフリー地図アプリ**です。**障害者や高齢者などにバリアフリー情報を発信することを通して、皆が安心して外出できる社会の実現を目指しています。**また、その情報は、誰でも自由に集めることができます。出かけた先のお店のバリアフリー情報を投稿するだけで、多様な方々の外出の可能性が広がります。

段差のないお店を Bmaps で探して、  
買い物を楽しむことができました！



バリアフリー情報数  
16万件以上！

私たちは、バリアフリー情報を集めています。

車いすユーザーが入店しやすい飲食店は、全体の約10%※です。バリアフリー化にはお金も時間もかかるため、この数を増やすのは非常に難しいことです。一方で、その10%のお店がどこにあるのかがわかれば、それだけで車いすユーザーの外出の機会は増加します。また、車いすユーザーのみならず、ベビーカー利用者や高齢者、外国人も、安心して入店できる情報を必要としています。※入口の段差が0段または1段の飲食店 (Bmapsプロジェクト調べ)



## REAL VOICE 1

今日、私が出かけた先で「困ったこと」や「助かったこと」を、Bmapsで発信すれば、誰かの明日を照らす地図になります。たくさんの人たちの「人を想う心」が詰まったBmapsの情報は、日本中を笑顔にしてくれると思います。

原田 あきさん (アコースティックデュオ「SAKURANBO」)



## REAL VOICE 2

初めての場所に行くとき、お手洗いはあるのか、バリアフリーなお店があるのかという情報を得るには時間がかかります。Bmapsに情報が集約されれば、とても助かります。

中野 政勝さん



### Bmapsで誰もが安心して 外出できる社会を一緒に 創りましょう！

車いすで生活をしている私にとって、外出に不安はつきものです。また、お店のバリアフリー情報がわからなければ、行き先の「選択肢」が限られます。行きたい場所を自分で選べ、不安を感じることなく外出したいという想いから、「Bmaps」を開発しました。多様な方々が安心して外出できる社会を、一緒に創っていきましょう。

株式会社ミライロ 代表取締役社長  
垣内 俊哉

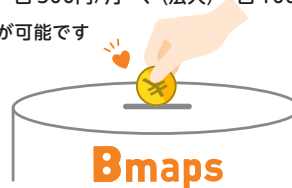
## 協賛を募集しています！

### 障害者とその周りの方々へ、確実に届く支援を

障害者は、「外出」という身近な課題を抱えています。Bmapsを通じて、障害者の日常生活における課題を解決してくれる方を募集しています。



(個人) 一口500円/月～、(法人) 一口100万円/年～  
の支援が可能です



障害者、約936万人に、  
あなたのココロと支援が届きます

バリアフリーの情報数が増え、  
障害者の外出を促進します



仮に、1人の障害者が500円を消費すれば、  
約50億円の経済効果に繋がります



協賛に関する詳細は、こちらから！

## ダウンロードはこちらから！

無料

### iPhone・iOS 端末の場合

1. App Storeを起動
2. 「Bmaps」で検索
3. 「入手」を選択してインストール
4. アプリの起動・会員登録

### Android 端末の場合

1. Playストアを起動
2. 「Bmaps」で検索
3. インストール
4. アプリの起動・会員登録



## 『SDGs』に貢献！

Bmapsは、この取り組みで『SDGs』に貢献します。



Bmapsの公式WEBサイトでは、バリアフリーに関するコラムなどを発信しています。

Bmaps

検索

Bmaps プロジェクト



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION